

①【寒冷地向け四号特例縮小と高断熱仕様への誘導】

講師：伊藤忠建材(株)パートナー講師 藤倉眞 氏



②【マグ・イゾベル(株) 等級6" + "への準備】

講師：マグイゾベル株式会社(株) 魚躬 大輝氏

③【旭化成建材(株) 高断熱仕様に向けたネオマの提案】

講師：旭化成建材(株) 野村 智美氏

〈お申し込みはこちら〉

2024年11月12日 (木) 16:00~17:30

<https://forms.office.com/r/MC94zGbp5d>

見逃し配信もあります!!



本セミナーのお申込みに際して記載いただいた個人情報は、セミナーの視聴管理以外には使用いたしません。
※見逃し配信は事前登録者の方にセミナー終了後配信致します。

必要壁量、どうやら増えるの？

省エネ基準の引上げ・底上げで、断熱材・開口部ガラス・太陽光発電など従来と比べ重量が増してくる住宅の安全性を確保するため、四号特例建築物の対象が大幅に縮小されます。建築物省エネ法に準拠した省エネ性能と構造耐力の両方を兼ね備える木造建築物に向けて、補助事業や税制優遇の活用も踏まえ、考慮すべきポイントをしっかり確認しましょう。また、もうすぐ訪れる2030年【断熱等級5が最低ラインになる時代】に向け、断熱等級“6 + ”装備までの断熱材仕様の変更ポイントを共有します。

等級6" + "のすすめ

※『等級“6 + ”』は伊藤忠建材、マグ・イゾベル、旭化成建材の三社で推進する高断熱仕様の固有名称です。

『等級6" + "』の家が、工務店様に、お施主様に選ばれる理由

健康のための“室温18℃”
の空間をキープ!

WHO推奨18℃をキープ
(OT18℃未満: 3.9%)

暖冷房エネルギーを少なく
“どこでも×ずっと”快適生活

24h×365日 全館空調して
“今の生活”より▲12%

トータル・ベストバランス
“快適”な暮らしを実現

断熱等性能等級6と比較して
約+10%の外皮建材コスト